



Press Release

2004年8月25日

(リリース差出人:株式会社デジベリー)

ニフティ株式会社が次世代ストレージ資産管理ツール「ファイルセンサス 3.3」を導入

- 体系的ストレージ管理を実現 -

株式会社デジベリー(以下:デジベリー、本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:野渡 龍)は、ニフティ株式会社(以下:ニフティ、本社:東京都品川区、社長:古河建純)が、次世代ストレージ資産管理ツール「ファイルセンサス 3.3」を導入したことを発表します。

「ファイルセンサス 3.3」はネット上に散在するサーバー、異機種ストレージ間の社内ファイルデータを一括管理できます。「ファイルセンサス・エージェント」がサーバーのファイルシステムをスキャンしてメタデータを収集、DAS、NAS、サーバー内蔵ディスク等の様々なデータを可視化、社内のストレージ利用の一元的把握を実現する次世代ストレージ資産管理ツールです。

採用にあたって、ニフティ株式会社では数種類のストレージ管理ソフトを検討しましたが、多角度からの強力なレポート能力、導入コスト及び導入面での簡素さから「ファイルセンサス 3.3」を選択しました。

「ファイルセンサス 3.3」を導入することにより、異機種ストレージ間の社内ファイルデータを一括管理でき退職や異動などによる所有者不明のファイル、重複しているファイル、数年間利用されていないファイルを削減することが可能になり、管理作業の簡略化、ストレージにかかる管理コストを削減することができました。

「ファイルセンサス 3.3」は、楽天株式会社を初めとする国内企業、海外では J.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニー、キャップジェミニ(旧キャップジェミニ、旧アーンスト&ヤング)、マクドナルド、プリストル・マイヤーズ、シェリング・プラウ、タイムワナー、米国情勢調査局等、ストレージ運用に情報ライフサイクル管理を積極的に活用する数千から数万人の従業員規模の企業や官公庁にて採用されています。

ファイルセンサスのホームページ(<http://www.digiberry.com/intermine/>)

<ニフティ株式会社におけるファイルセンサスの導入概要>

導入規模: 1,500 ユーザー

拠点: 東京

サーバーOS: Windows、Linux、Unix

利用目的: 企業内ファイルサーバー・ストレージ管理

導入の決め手:

- ・強力な異種間ストレージの情報収集能力
- ・強力なレポート能力
- ・キャパシティプランニング
- ・ストレージ管理分析にかかる人的コストの節約



ニフティ株式会社について

社名： ニフティ株式会社
本社： 東京都品川区南大井 6-26-1 大森ベルポート A 館
設立： 1986 年 2 月
資本金： 10 億円
代表取締役社長： 古河 建純

デジベリーについて

社名： 株式会社デジベリー (ファイルセンサス国内総販売元)
<http://www.digiberry.com>
本社： 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707
設立： 2001 年 3 月 30 日
資本金： 1,020 万円
代表取締役： 野渡 龍
概要： コンピュータハードウェアの輸入、販売、
コンピュータソフトウェアのライセンス提供、販売

###

FileCensus は Intermin Pty Ltd. の登録商標です。すべてのその他のブランドまたは製品の商標は該当する企業に帰属します。

報道関係者お問い合わせ：

株式会社デジベリー 渡辺
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707
TEL: 03-5797-0866
e-mail: inquiry@digiberry.com